【Microsoft Entra Connect】OU の同期

2025年1月31日

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第1版	2025年1月31日	初版発行

本資料の内容は 2025/1/31 時点のものです。製品のアップデートにより変更となる場合がございます旨ご了承ください。

Agenda

1. 前提情報
    1. 前提
2. 機能の基本情報
    1. サービス概要
    2. Azure Directory の構成要素
    3. Microsoft Entra Connect 同期
    4. Microsoft Entra Connect 同期のフィルター処理
3. テストケース検証
    1. テストケース検証とその結果
    2. テストケース① 親 OU の同期確認
    3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認
    4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外
    5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認
    6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

1. 前提情報

1.1. 前提条件

・本書は、クラウドサポートのService Request情報の回答を基に作成しております。
・本書に記載するサービス仕様、サービス名称などの各情報については、2025年1月時点でのサービス仕様に基づくものとしております。
・本書は、Windows Server 2022のキャプチャを利用しております。
・Microsoft Entra Connect は、ドメインに参加している Windows Server 2016 以降にインストールする必要があります。
ドメイン参加済みの Windows Server 2022 を使用することをお勧めします。 Microsoft Entra Connect は Windows Server 2016 にデプロイできますが、Windows Server 2016 は延長サポートであるため、この構成に支援が必要な場合は有償サポート プログラムが必要になることがあります。

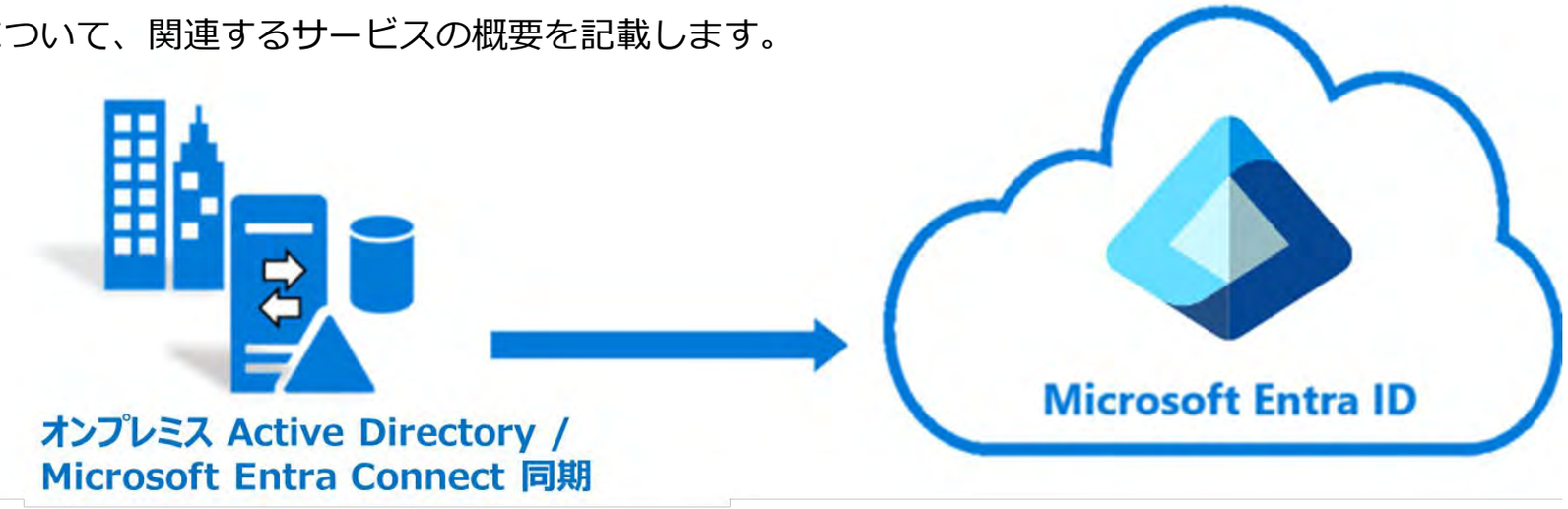
・本書は過去に発生した顧客質問を元に仕様の確認および検証を行っています。質問のカテゴリ、内容詳細を以下に記載します。

Azure Service	機能	内容詳細
Microsoft EntraID	Microsoft Entra Connect	①同期対象である親 OU の配下に子 OUを追加した場合、新規追加した子 OU も同期対象になるか。 ②同期対象の親 OU 配下の子 OU を意図的に同期対象から除外する方法はあるか。 ③親 OU・子 OU のどちらも同期対象となっている場合、子 OU のみを同期対象外の他親 OU の配下に移動したら同期対象の設定は変更されるか。

2. 機能の基本情報

2.1. サービス概要

本書で紹介する機能について、関連するサービスの概要を記載します。

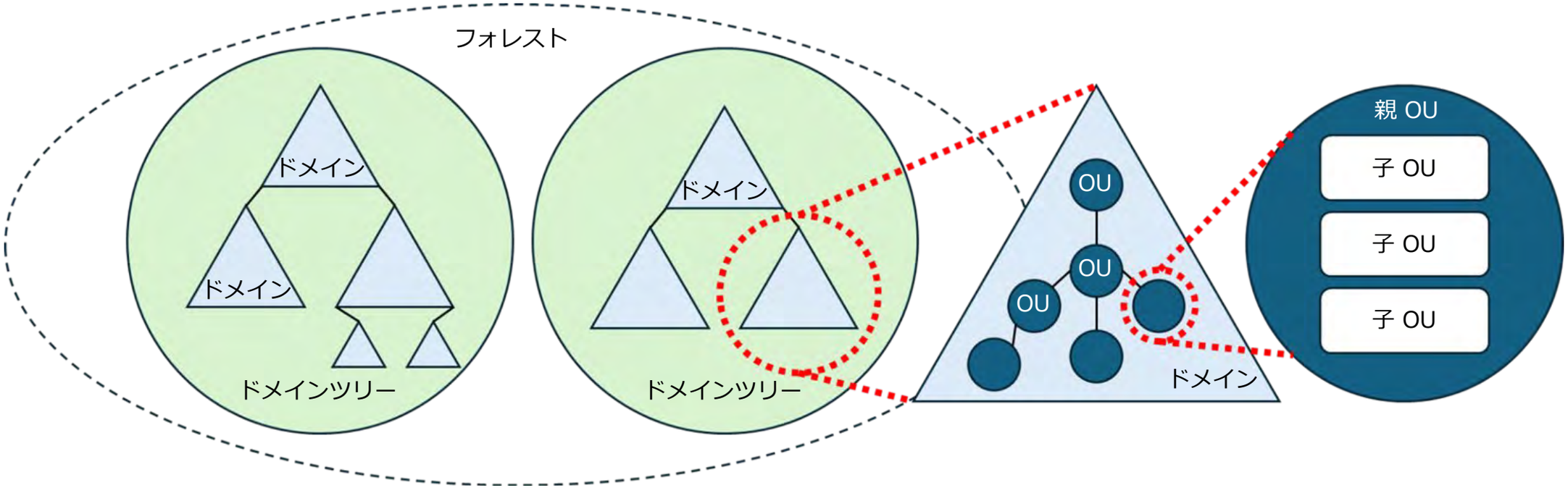


・Active Directory
Windows サーバーに設けられたディレクトリサービスシステム。認証を通し、ユーザやデバイスなどの組織内リソースを一元管理します。

・Microsoft Entra ID
クラウドベースの ID およびアクセス管理サービス。Microsoft 365、Azure を含む SaaS 製品の認証基盤として利用します。

・Microsoft Entra Connect
オンプレミス Active Directory と Microsoft Entra ID の間で ID データの同期に関連するすべての操作を処理します。
ユーザー、グループ、その他のオブジェクトを同期することで一貫したユーザー認証と ID 管理を行います。
同期の仕組みに Connect 同期、クラウド同期の 2種類があります。

2.2. Active directory の構成要素

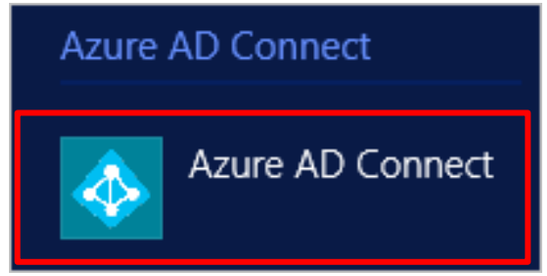


構成要素	内容	構成要素	内容
フォレスト	Active directory が管理するドメイングループの最も大きな管理単位。1つ以上のドメインツリーで構成される。	ドメイン	Active Directory 理論構造の基本単位。 認証されたユーザが、リソースを管理・共有する範囲。
ドメインツリー	ドメインの階層構造をツリー状で表現したもの。	OU（組織単位）	ドメイン管理の最小単位で、親/子の階層構造を作れる。 ユーザアカウントやコンピュータ、リソースの集合。

2.3. Microsoft Entra Connect 同期

■Microsoft Entra Connect 同期 とは
Active Directory 上のユーザー、デバイスなどの情報を Microsoft Entra ID に同期する際に使用します。
Microsoft Entra Connect で設定した構成規則に基づき、各情報を Microsoft Entra ID へ同期します。既定の規則設定を変更することで同期する対象や条件を制御できます。

■Microsoft Entra Connect インストール ウィザード
[スタート] メニューに [Microsoft Entra Connect] と表示される同期エンジンです。
実行初回は Microsoft Entra Connect をインストールする際に手順を案内し、
2回目以降は Microsoft Entra Connect 同期に関するオプションを管理するために使用します。



■同期の周期
既定では30分に1回の頻度で同期が行われます。同期サイクルはカスタムでき、最長で7日に1回の頻度に変更することができます。
また、Microsoft Entra Connect インストール ウィザードから手動で即時同期を実施することもできます。

■同期される情報
既定では、フォレスト内の全ドメインのほとんどのオブジェクトとそのプロパティーが同期対象となります。
Microsoft Entra ID へ同期したくない情報がある場合は、フィルターを設定することで同期を制御できます。

2.4. Microsoft Entra Connect 同期のフィルター処理

■Microsoft Entra Connect 同期のフィルター処理

フィルター処理を使用することで、オンプレミス Active Directory からどのオブジェクトを Microsoft Entra ID に反映するかを制御できます。

■フィルター処理の注意点

実際の自社運用環境でフィルター処理の変更を行う際、設定内容の検討が不十分な状態で自動的に同期が行われ環境に大きな影響を及ぼす可能性があります。そのため、予め既存の自動同期の周期を検討し変更・中止する必要があります。また、変更したフィルターの同期で問題ないかを予め検証することをおすすめします。

■フィルター処理のオプション

フィルター処理には以下のタイプを適用できます。各オプションは複数適用でき、組み合わせた結果を同期します。

フィルタータイプ	内容
グループベース	初回インストール時のみ設定可能で、以後変更不可。同期が必要なオブジェクトがごく少数の場合に使用。
ドメインベース	フォレスト内のどのドメインを同期の対象とするかを選択。
OU (組織単位) ベース	ドメイン内のどの OU を同期の対象とするかを選択。選択された OU 内のすべてのオブジェクトタイプが同期対象。
属性ベース	オブジェクトの属性値に基づいて同期対象を絞る。

本書はオンプレミス Active Directory のオブジェクト情報を Microsoft Entra Connect 同期を通し **OU ベース**で Microsoft Entra ID へ同期した際の操作手順と同期結果をまとめた資料です。

3. テストケース検証

3.1. テストケース検証とその結果

本書は以下のテストケースに沿って検証を行っています。検証の詳細は [3.2. テストケース①] ～ [3.6. テストケース⑤] をご確認ください。

No.	テストケース	内容	検証結果
1	親 OU の同期確認	Active Directory で同期対象・同期対象外の親 OU を作成し、Microsoft Entra ID への同期状況を確認	同期対象 OU のユーザーが Microsoft Entra ID に同期される。同期対象外 OU のユーザーは同期されない。
2	親 OU / 子 OU の同期確認	Active Directory で同期対象・同期対象外 親 OU の配下に子 OU を作成し、Microsoft Entra ID への同期状況を確認	同期対象 子 OU のユーザーが Microsoft Entra ID に同期される。同期対象外 子 OU のユーザーは同期されない。
3	子 OU の同期対象除外	Active Directory で同期対象 親 OU 配下の子 OU を同期対象から除外し、Microsoft Entra ID への同期状況を確認	同期対象から除外した OU のユーザーが同期ユーザーリストから削除される。
4	子 OU の移動に伴う同期確認	Active Directory で同期対象 親 OU 配下の子 OU を同期対象外 親 OU の配下に移動し、Microsoft Entra ID への同期状況を確認	移動した OU のユーザーは同期されていた既存 Microsoft Entra ID のユーザーリストに継続存在するが、新しいプロパティの更新は行われない。
5	ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認	Active Directory で同期対象 親 OU のユーザーを同期対象外 親 OU に移動し、Microsoft Entra ID への同期状況を確認	移動したユーザーは同期されていた既存 Microsoft Entra ID のユーザーリストから削除される。

3.2. テストケース①

親 OU の同期確認

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

■検証内容

Active Directory で同期対象・同期対象外の親 OU をそれぞれ作成し、OU 内のオブジェクト (ユーザー) が Microsoft Entra ID に同期された結果を確認します。

■検証条件

区分	OU 名	ユーザー名
同期対象	staff	田中 はじめ
同期対象外	external	外部 次郎

■検証結果

同期対象 OU のユーザーが Microsoft Entra ID に同期されます。同期対象外 OU のユーザーは同期されません。

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

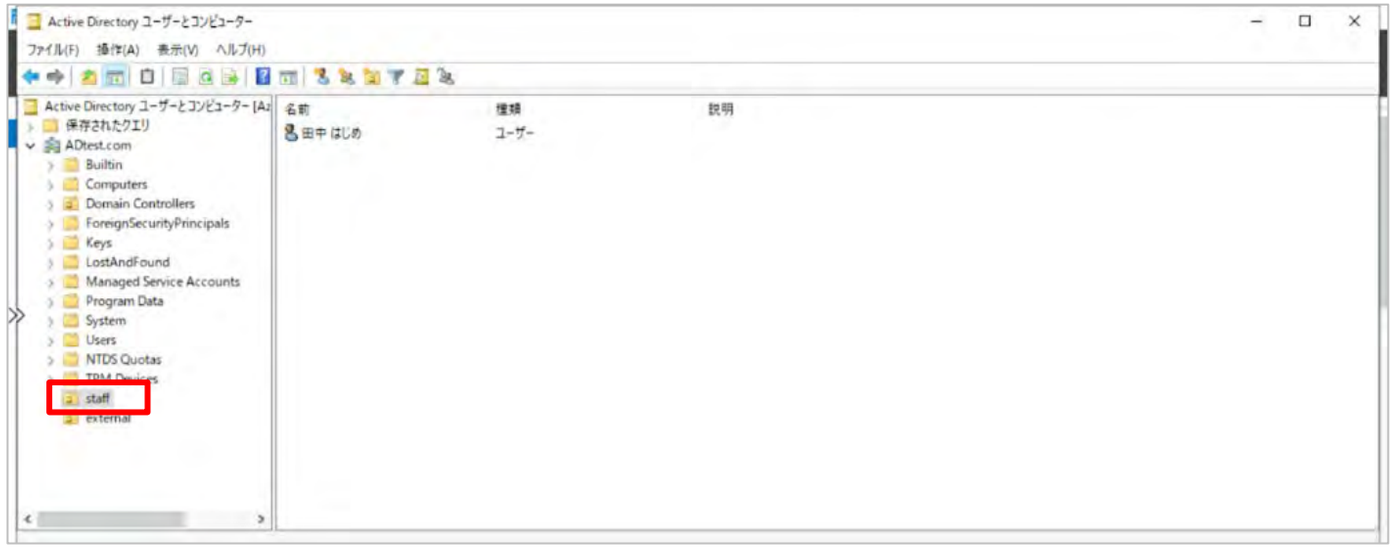
【親 OU の作成】

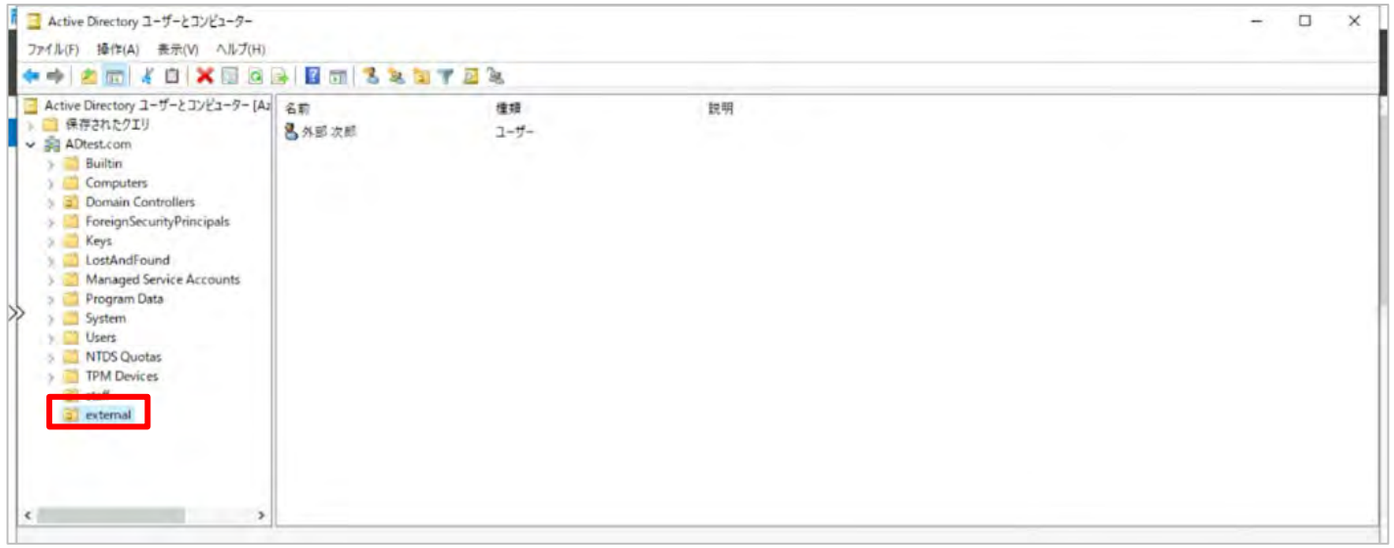
1. [サーバーマネージャー] を開きます。

2. 右上 [ツール] を選択します。

3. [Active Directory ユーザーとコンピューター] を選択します。

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認





【親 OU の作成】

4. 新規 OU を確認します。

本書では以下の2つを親 OU として作成しました。

・同期対象の OU：staff

　　└ユーザー：田中 はじめ

・同期対象外の OU：external

　　└ユーザー：外部 次郎

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

1. Microsoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを実行します。

2. 追加のタスク画面で「同期オプションのカスタマイズ」タスクに進みます。

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】
3. Microsoft Entra ID に接続する画面で
ハイブリッド ID 管理者、またはグローバル管理者の情報でログインを行います。

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】
4. ディレクトリの接続画面で同期するフォレストが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

5. ドメインと OU のフィルタリング画面で、各 OU の同期設定を確認します。
作成した OU は既定で同期対象になっています。同期対象外とする OU についてはチェックボックスのチェックを解除します。

作成した2つの OU に対し、以下のように設定しました。
☑ staff（該当 OU を同期対象とする）
☐ external（該当 OU を同期対象外とする）

6. フィルタリングが完了したら「次へ」をクリックします。

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】
7. オプション機能画面で任意の設定を行い、「次へ」をクリックします。
※本書では既定のままとしています。

8. 構成の準備完了画面で「次へ」をクリックします。

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

9. 同期サービスが構成されます。

10. 「完了」をクリックします。

3.2. テストケース① 親 OU の同期確認

【Microsoft Entra ID 同期確認】

1. Microsoft Entra ID で同期状況を確認します。

2. 同期対象 OU [staff] のユーザーである [田中 はじめ] が Microsoft Entra ID に同期されたことを確認できます。
同期対象外 OU [external] のユーザーである [外部 次郎] は同期されません。

3.3. テストケース②

親 OU / 子 OU の同期確認

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認

■検証内容

Active Directory で同期対象・同期対象外の親 OU 配下に子 OU をそれぞれ作成し、OU 内のオブジェクト (ユーザー) が Microsoft Entra ID に同期された結果を確認します。

■検証条件

区分		OU 名	ユーザー名
同期対象	親 OU	staff	田中 はじめ
	子 OU	partner	佐藤 はるか
同期対象外	親 OU	external	外部 次郎
	子 OU	outsource	外部 まさき

■検証結果

同期対象 子 OU のユーザーが Microsoft Entra ID に同期されます。

同期対象外 子 OU のユーザーは同期されません。

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認

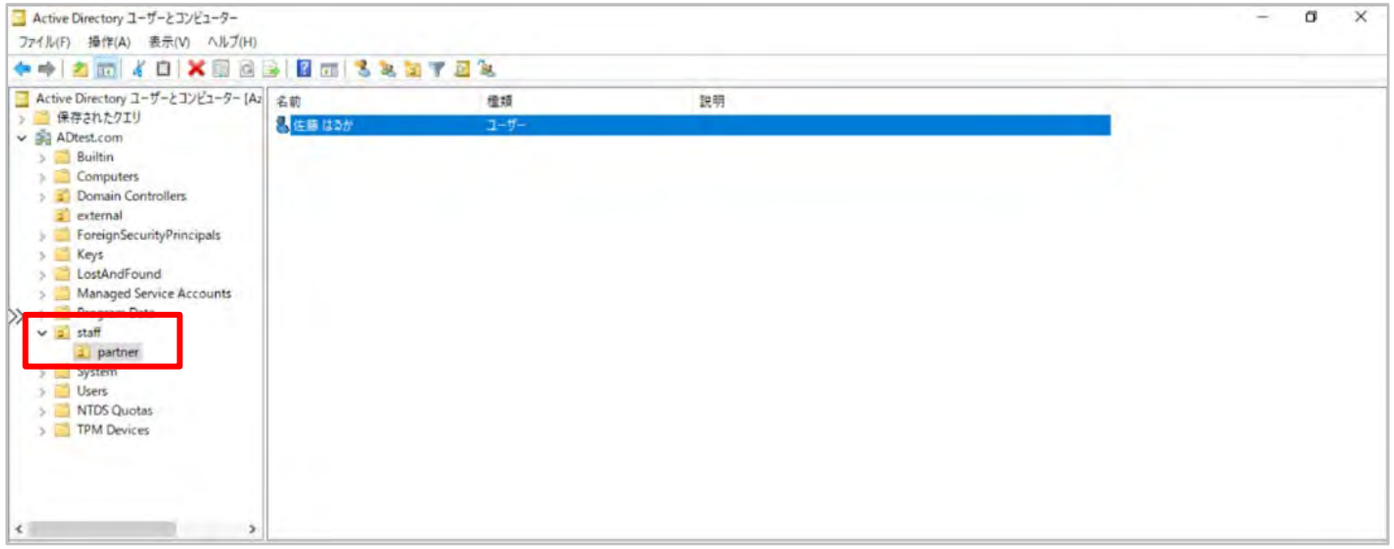
【子 OU の作成】

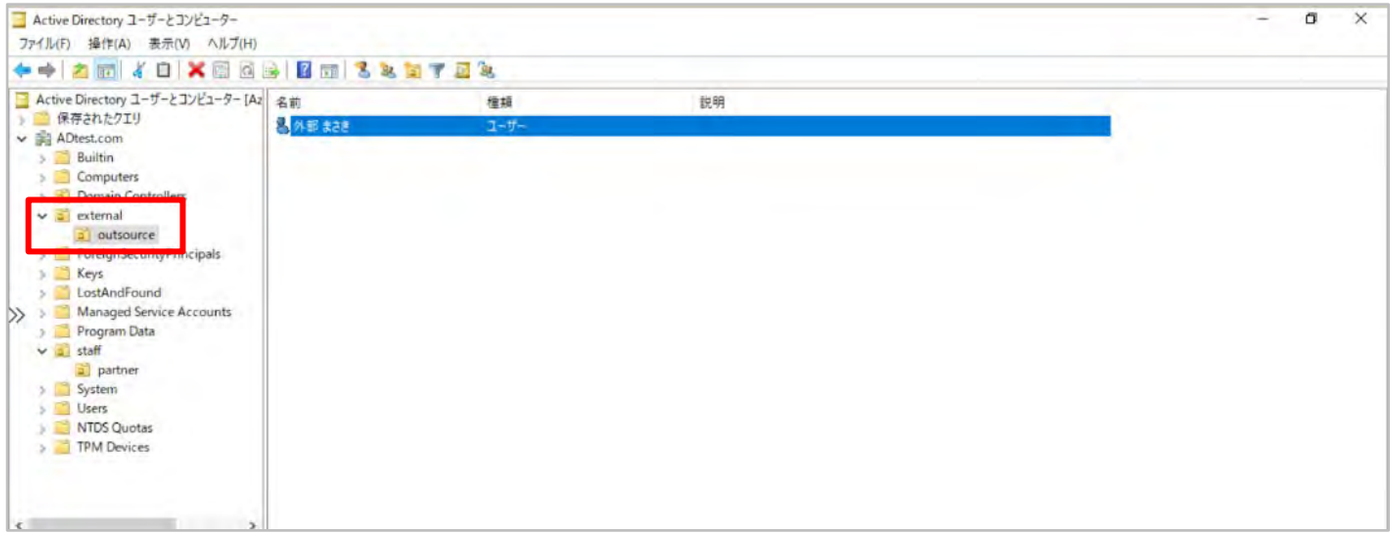
1. [サーバーマネージャー] を開きます。

2. 右上 [ツール] を選択します。

3. [Active Directory ユーザーとコンピューター] を選択します。

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認





【子 OU の作成】

4. 既存 OU の配下に新規 OU を確認します。

本書では以下の2つを子 OU として作成しました。

- 同期対象の親 OU：staff (既存)
  - └ユーザー：田中 はじめ
- 子 OU：partner (新規)
  - └ユーザー：佐藤 はるか
- 同期対象外の親 OU：external (既存)
  - └ユーザー：外部 次郎
- 子 OU：outsource (新規)
  - └ユーザー：外部 まさき

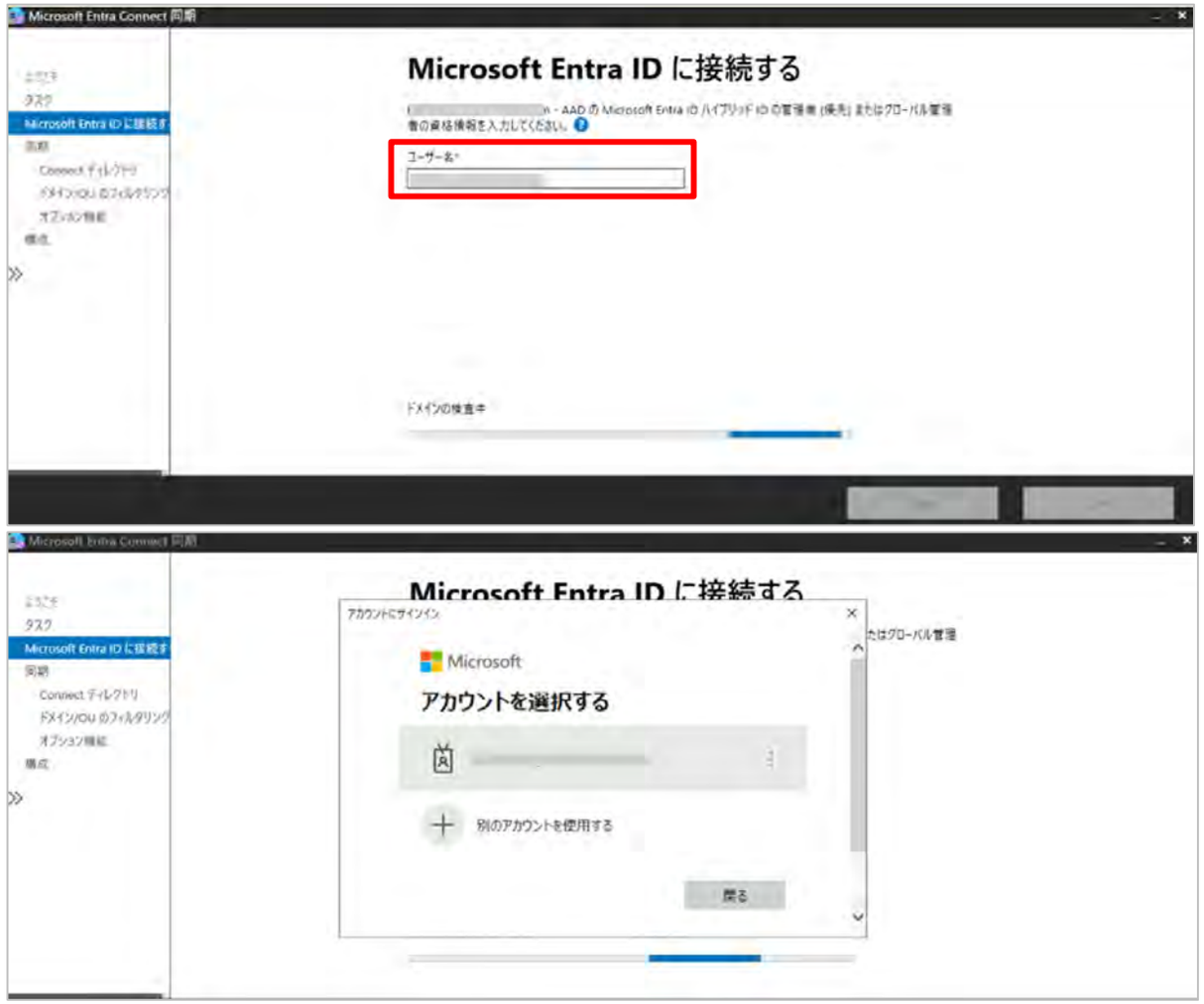
3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

1. Microsoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを実行します。

2. 追加のタスク画面で「同期オプションのカスタマイズ」タスクに進みます。

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認



【Microsoft Entra Connect 同期処理】
3. Microsoft Entra ID に接続する画面で
ハイブリッド ID 管理者、またはグローバル管理者の情報でログインを行います。

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

4. ディレクトリの接続画面で同期するフォレストが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

5. ドメインと OU のフィルタリング画面で、各 OU の同期設定を確認します。
作成した子 OU は親 OU の同期設定に沿ってフィルタリングされます。

作成した2つの子 OU は既定で以下のように設定されています。

☑ staff (同期対象の親 OU)
└☑ partner (自動で同期対象設定)
☐ external (同期対象外の親 OU)
└☐ outsource (自動で同期対象外設定)

6. フィルタリング確認が完了したら「次へ」をクリックします。

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】
7. オプション機能画面で任意の設定を行い、「次へ」をクリックします。
※本書では既定のままとしています。

8. 構成の準備完了画面で「次へ」をクリックします。

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

9. 同期サービスが構成されます。

10. 「完了」をクリックします。

3.3. テストケース② 親 OU / 子 OU の同期確認

【Microsoft Entra ID 同期確認】

1. Microsoft Entra ID で同期状況を確認します。

2. 同期対象子 OU [partner] のユーザーである [佐藤 はるか] が Microsoft Entra ID に同期されたことを確認できます。
同期対象外子 OU [outsource] のユーザーである [外部 まさき] は同期されません。

3.4. テストケース③
子 OU の同期対象除外

3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外

■検証内容

Active Directory で同期対象 親 OU 配下の子 OU を同期対象から除外し、OU 内のオブジェクト (ユーザー) が Microsoft Entra ID に同期された結果を確認します。

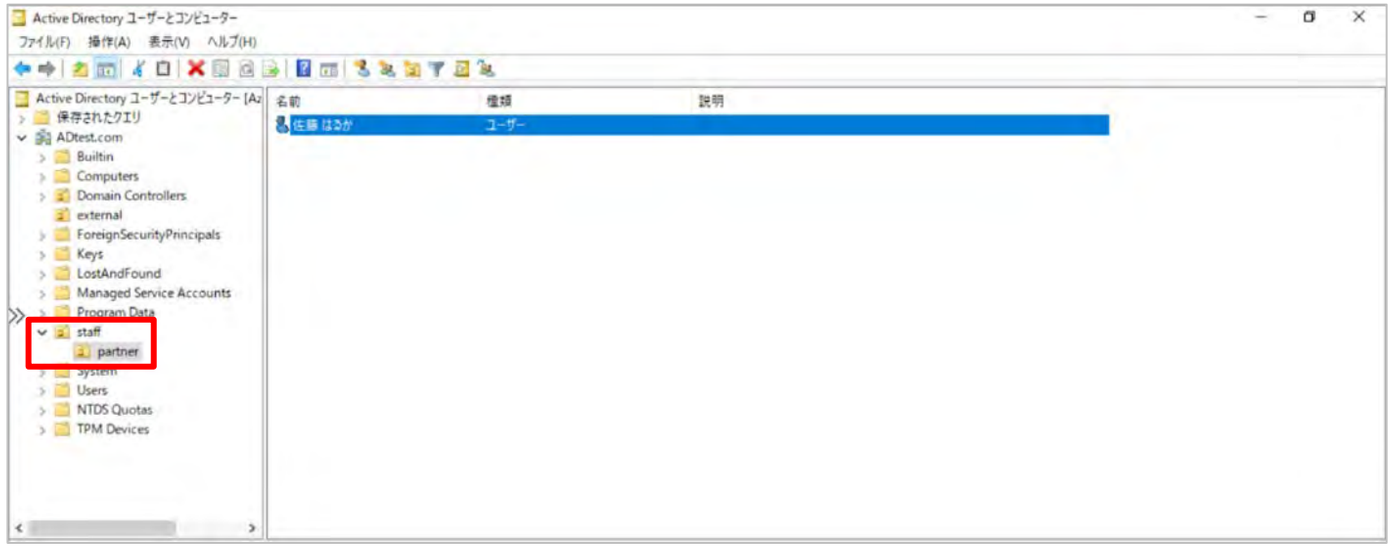
■検証条件

区分		OU 名	ユーザー名
同期対象	親 OU	staff	田中 はじめ
同期対象 → 除外	子 OU	partner	佐藤 はるか
同期対象外	親 OU	external	外部 次郎
	子 OU	outsource	外部 まさき

■検証結果

同期対象だった子 OU を同期対象から除外したことで、該当 OU のユーザーが同期ユーザーリストから削除されます。

3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外



【子 OU の同期対象除外】

1. 既存では同期対象に設定されている以下の OU [partner] に対し、同期設定を解除します。
   - 同期対象の親 OU：staff
     - └ユーザー：田中 はじめ
   - 子 OU：partner
     - └ユーザー：佐藤 はるか

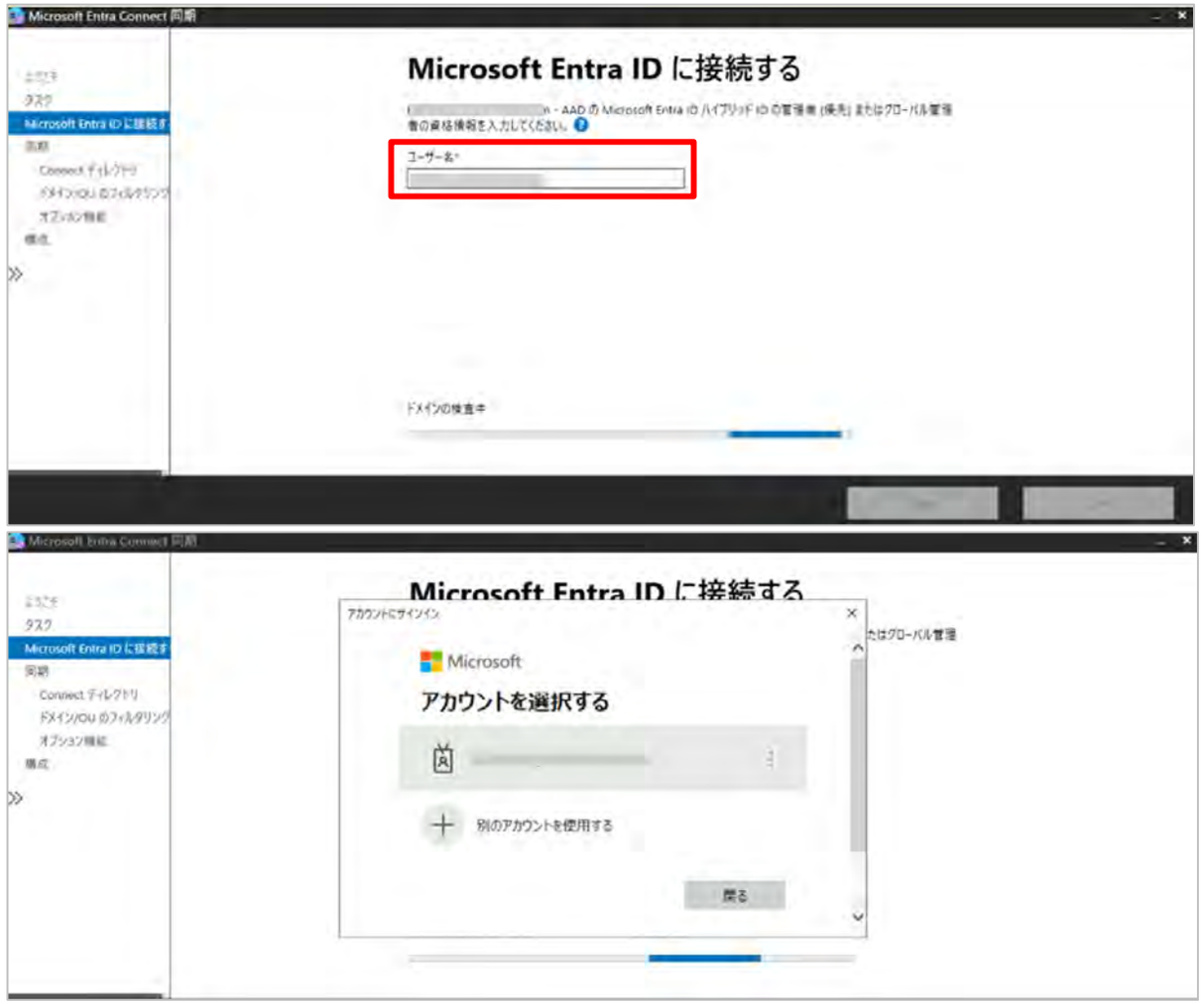
3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外

【Microsoft Entra Connect 同期設定変更】

1. Microsoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを実行します。

2. 追加のタスク画面で「同期オプションのカスタマイズ」タスクに進みます。

3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外



【Microsoft Entra Connect 同期設定変更】

3. Microsoft Entra ID に接続する画面で
ハイブリッド ID 管理者、またはグローバル管理者の情報でログインを行います。

3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外

【Microsoft Entra Connect 同期設定変更】

4. ディレクトリの接続画面で同期するフォレストが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

5. ドメインと OU のフィルタリング画面で、各 OU の同期設定を確認します。

同期対象から除外する OU [partner] に対し、チェックボックスのチェックを解除します。

☑ staff (同期対象の親 OU)
└☐ partner (同期対象から除外)

6. フィルタリング確認が完了したら「次へ」をクリックします。

3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外

【Microsoft Entra Connect 同期設定変更】
7. オプション機能画面で任意の設定を行い、「次へ」をクリックします。
※本書では既定のままとしています。

8. 構成の準備完了画面で「次へ」をクリックします。

3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外

【Microsoft Entra Connect 同期設定変更】

9. 同期サービスが構成されます。

10. 「完了」をクリックします。

3.4. テストケース③ 子 OU の同期対象除外

【Microsoft Entra ID 同期確認】

1. Microsoft Entra ID で同期状況を確認します。

2. 子 OU [partner] を同期対象から除外したことで、[partner] のユーザーである [佐藤 はるか] が同期ユーザーリストから削除されます。

3.5. テストケース④

子 OU の移動に伴う同期確認

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

■検証内容

Active Directory で同期対象 親 OU 配下の子 OU を同期対象外 親 OU の配下に移動し、OU 内のオブジェクト (ユーザー) が Microsoft Entra ID に同期された結果を確認します。

■検証条件

区分		OU 名	ユーザー名
同期対象	親 OU	staff	田中 はじめ
同期対象外	親 OU	external	外部 次郎
	子 OU	outsource	外部 まさき
同期対象 → 親変更	子 OU	partner	佐藤 はるか

■検証結果

同期対象だった子 OU を同期対象外の親 OU 配下に移動した場合、該当 OU のユーザーは Microsoft Entra ID の同期ユーザーリストに有効ユーザーとして継続し存在しますが、Active Directory で追加・更新したユーザーのプロパティなどは同期されません。

そのため、OU の移動には注意が必要です。オブジェクトの同期設定を変更する際はオブジェクト移動を検討してください。(※テストケース⑤ 参照)

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

【子 OU の同期状況事前確認】

1. Microsoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを実行します。

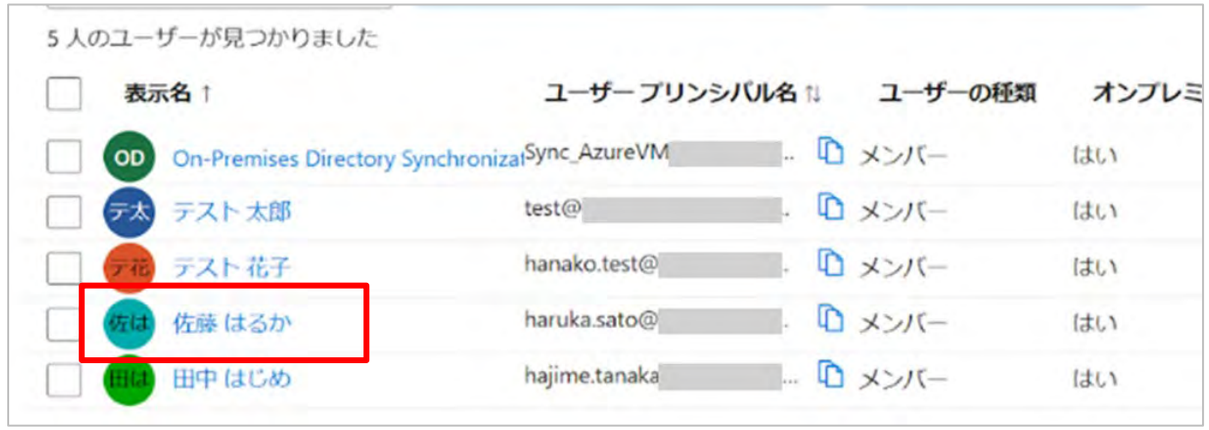
2. ドメインと OU のフィルタリング画面で、各 OU の同期設定を確認します。

子 OU [partner] は同期対象に設定されています。

☑ staff (同期対象の親 OU)

└☑ partner (同期対象の子 OU)

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認



【子 OU の同期状況事前確認】

3. Microsoft Entra ID で同期状況を確認します。

4. 同期対象 OU [partner] のユーザーである [佐藤 はるか] が Microsoft Entra ID に同期されていることを確認できます。

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

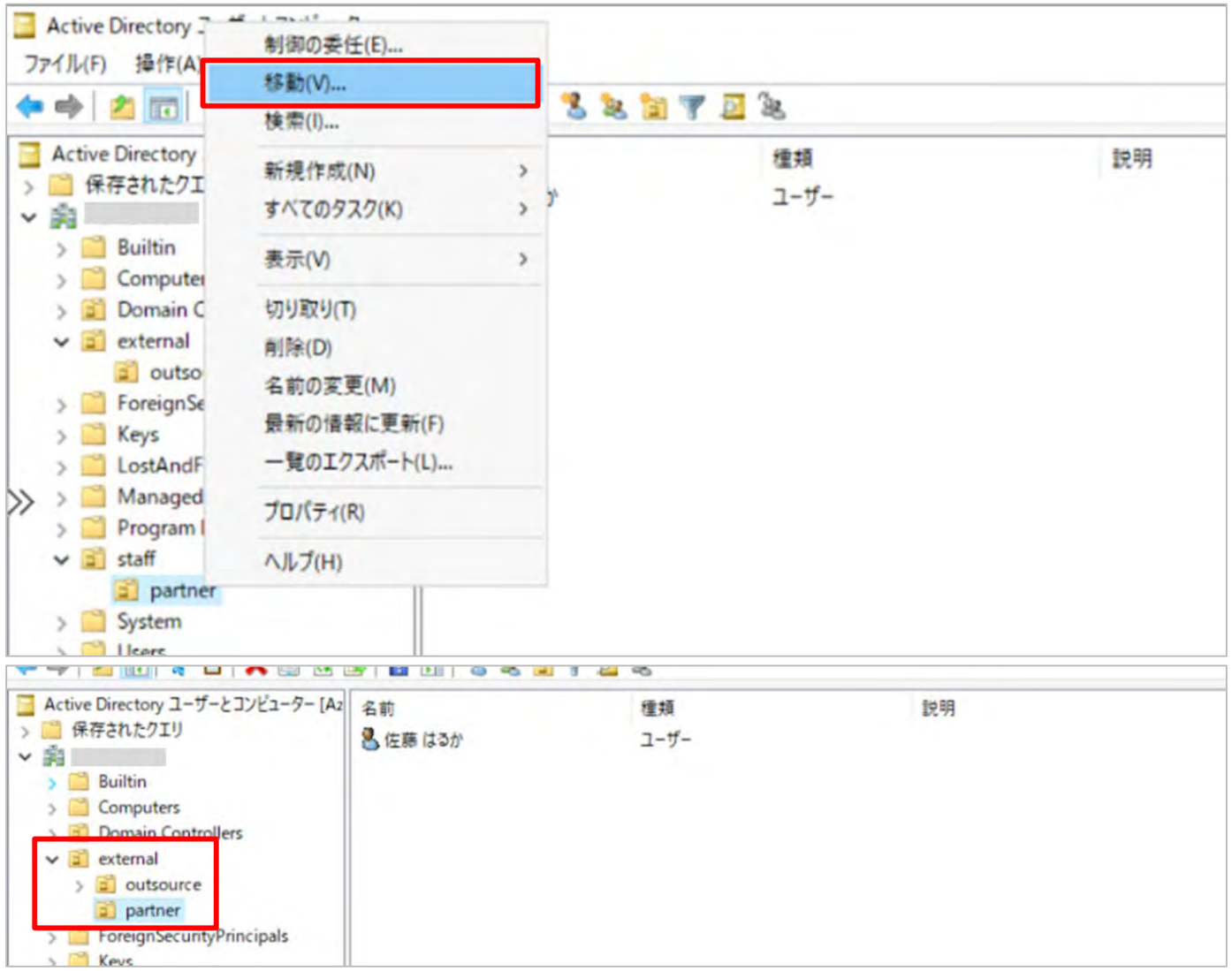
【子 OU の移動】

1. [サーバーマネージャー] を開きます。

2. 右上 [ツール] を選択します。

3. [Active Directory ユーザーとコンピューター] を選択します。

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認



【子 OU の移動】

4. 子 OU を選択し、移動します。

本書では同期対象の子 OU [partner] を同期対象外の親 OU [external] 配下に移動しました。

＜移動前＞

- 同期対象の親 OU：staff
  - └ユーザー：田中 はじめ
- 子 OU：partner (移動前)
  - └ユーザー：佐藤 はるか
- 同期対象外の親 OU：external
  - 子 OU：outsource

＜移動後＞

- 同期対象の親 OU：staff
  - └ユーザー：田中 はじめ
- 同期対象外の親 OU：external
  - 子 OU：outsource
  - 子 OU：partner (移動後)
    - └ユーザー：佐藤 はるか

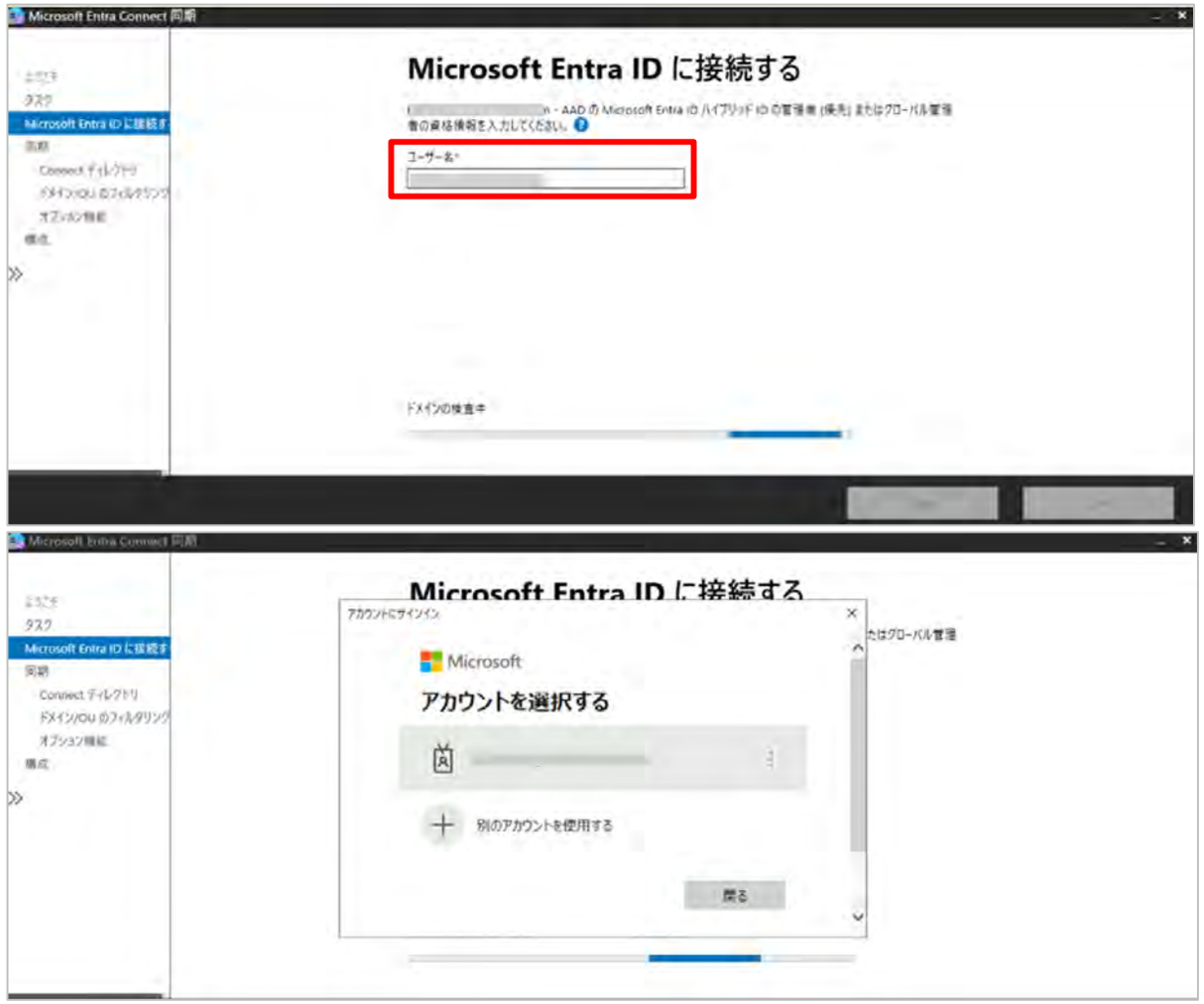
3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

1. Microsoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを実行します。

2. 追加のタスク画面で「同期オプションのカスタマイズ」タスクに進みます。

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認



【Microsoft Entra Connect 同期処理】
3. Microsoft Entra ID に接続する画面で
ハイブリッド ID 管理者、またはグローバル管理者の情報でログインを行います。

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

4. ディレクトリの接続画面で同期するフォレストが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

5. ドメインと OU のフィルタリング画面で、各 OU の同期設定を確認します。

移動した子 OU [partner] の同期設定が変更されました。

- ☑ staff (同期対象の親 OU)
- ☐ external (同期対象外の親 OU)
  - └☐ outsource (同期対象外の子 OU)
  - └☐ partner (移動し、同期フィルタが変更された)

6. フィルタリング確認が完了したら「次へ」をクリックします。

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】
7. オプション機能画面で任意の設定を行い、「次へ」をクリックします。
※本書では既定のままとしています。

8. 構成の準備完了画面で「次へ」をクリックします。

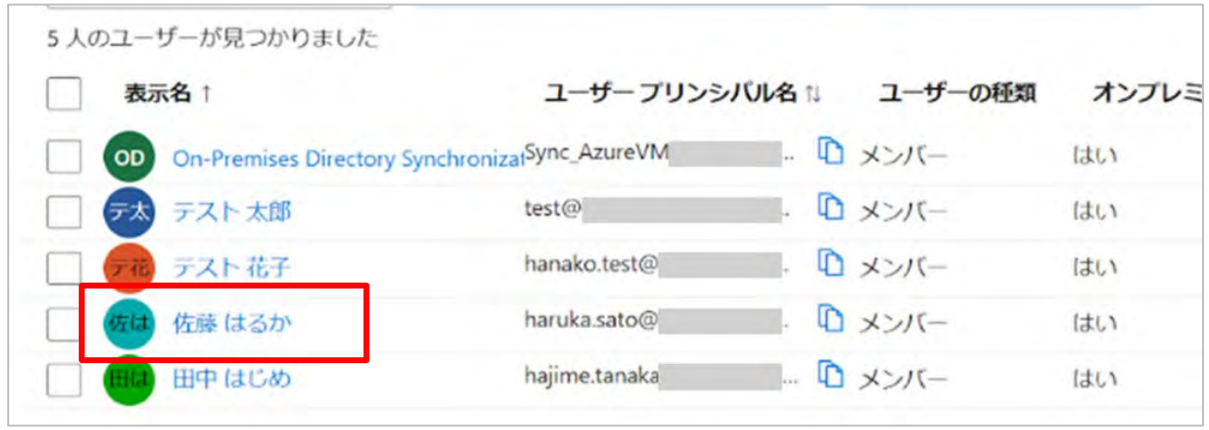
3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

9. 同期サービスが構成されます。

10. 「完了」をクリックします。

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認



【Microsoft Entra ID 同期確認】

1. Microsoft Entra ID で同期状況を確認します。

2. 同期対象外の親 OU 配下に移動した、子 OU [partner] のユーザーである [佐藤 はるか] がユーザーリストに表示されたままになっています。

また、Active Directory でユーザープロパティを更新し同期した場合、新しく追加したプロパティは Microsoft Entra ID に同期されません。

3.5. テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認

【同期結果に齟齬が発生する原因】
テストケース④ 子 OU の移動に伴う同期確認において、以下のような同期結果の齟齬が発生しています。
・同期対象から外れた子 OU のユーザーが、有効のユーザーとして Microsoft Entra ID に存在し続けた
・Active Directory で該当ユーザーのプロパティを更新しても、その情報は Microsoft Entra ID に同期されなかった

このような齟齬が発生す原因は、行われた同期が「差分同期」であるためです。

・差分同期：前回同期処理してから次に同期処理するまでの間に更新された差分について同期処理を行うもの
・完全同期：Active Directory 内のすべてのオブジェクト情報を読み取り、同期処理を行うもの
　　Microsoft Entra Connect 同期ルールを変更した場合など、必要に応じて実施する

通常の定期的に行われる同期、そして本書でMicrosoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを通し手動で実施する同期は「差分同期」です。テストケース④で行った OU の移動とその後の同期については、差分同期では正常な同期が行われませんでした。
「完全同期」を実施した場合、同期対象から外れた子 OU のユーザーは 同期されていた既存 Microsoft Entra ID のユーザーリストから削除されます。

しかし、完全同期の実施には長い時間がかかる可能性があります。
大量の変更が発生するなど整合性をとる必要がある場合を除き、少数を変更する際には [3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認] で案内するオブジェクトの移動をおすすめします。

3.6. テストケース⑤
ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

■検証内容

Active Directory で同期対象 OU のユーザーを同期対象外 OU に移動し、移動した OU 内のオブジェクト (ユーザー) が Microsoft Entra ID に同期された結果を確認します。

■検証条件

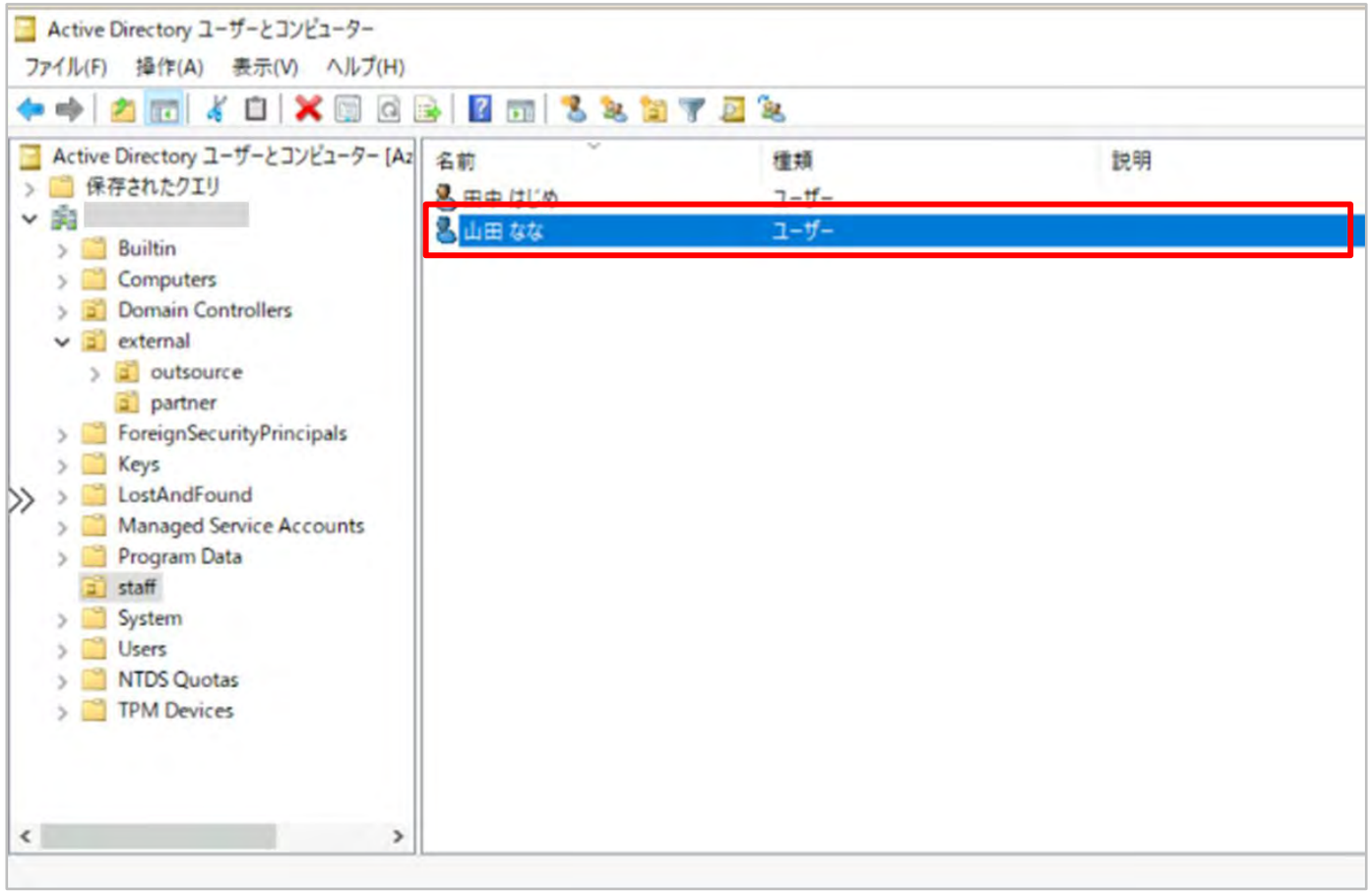
区分	OU 名	ユーザー名
同期対象	staff	田中 はじめ
同期対象外	external	外部 次郎
		山田 なな　※同期対象 OU から同期対象外 OU へ移動

■検証結果

ユーザーを同期対象 OU から同期対象外 OU へ移動したことで、ユーザーは同期されていた既存 Microsoft Entra ID のユーザーリストから削除されます。

特定のオブジェクトを同期対象から除外する必要がある場合、該当オブジェクトを同期対象外 OU へ移動させることをおすすめします。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認



【ユーザーの同期状況事前確認】

1. 同期対象に設定されている OU [staff] に対し、ユーザー [山田 なな] を追加します。
   - 同期対象の OU：staff
     - └ユーザー：田中 はじめ
     - └ユーザー：山田 なな

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

【ユーザーの同期状況事前確認】

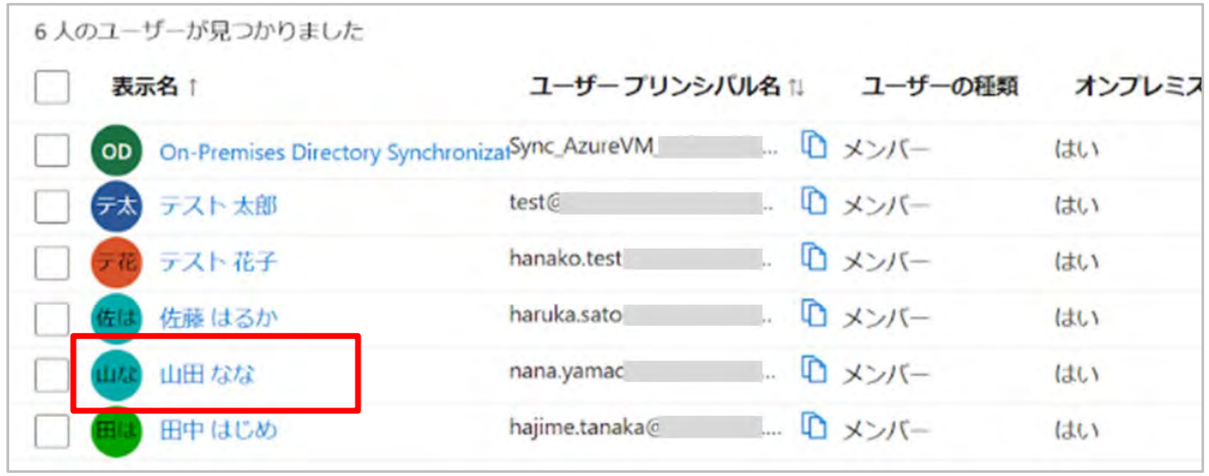
2. Microsoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを実行します。

3. ドメインと OU のフィルタリング画面で、各 OU の同期設定を確認します。

OU [staff] は同期対象に設定されています。

☑ staff (同期対象の OU)

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認



【ユーザーの同期状況事前確認】

4. Microsoft Entra ID で同期状況を確認します。

5. 同期対象 OU [staff] のユーザーである [山田 なな] が Microsoft Entra ID に同期されていることを確認できます。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

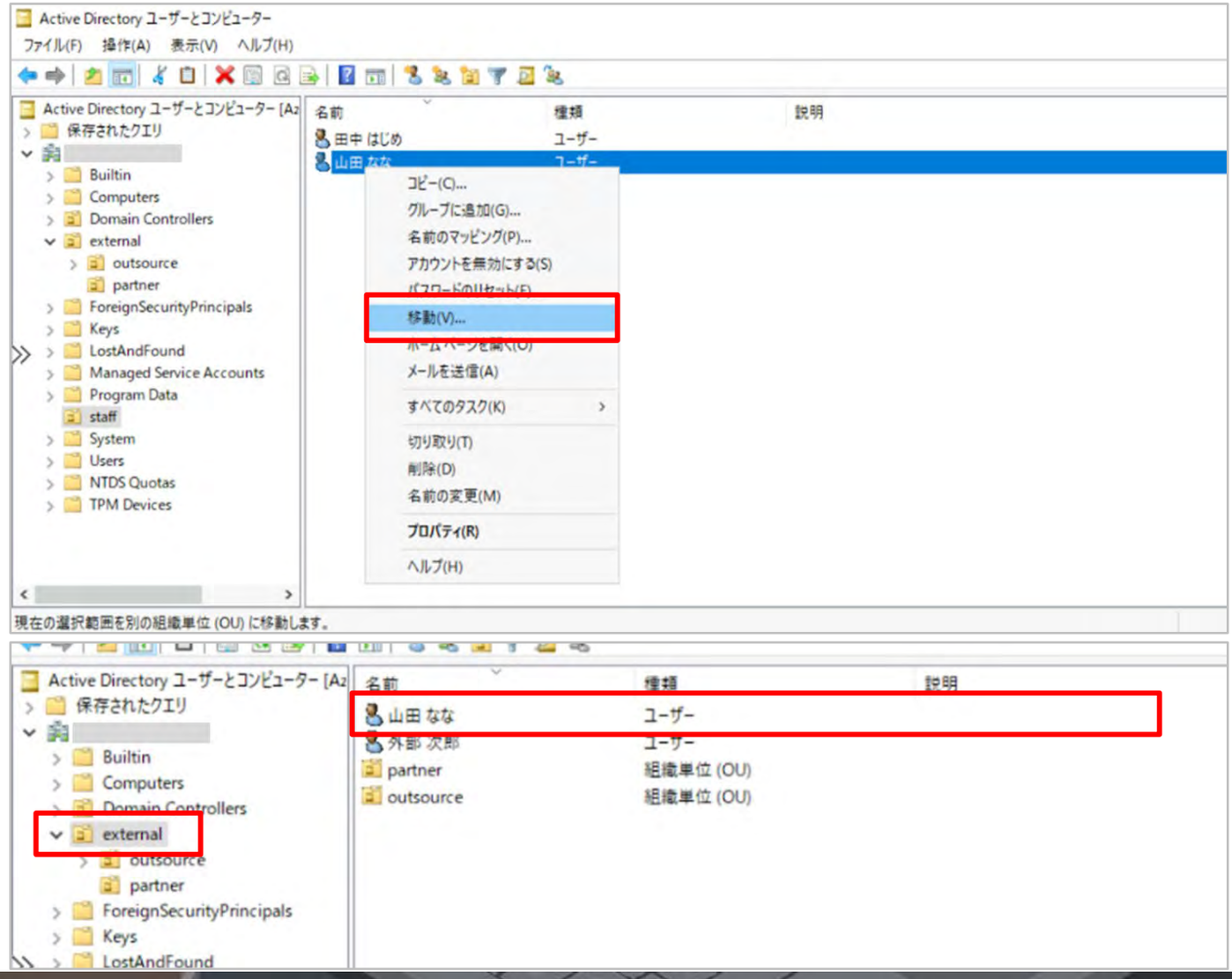
【ユーザーの OU 移動】

1. [サーバーマネージャー] を開きます。

2. 右上 [ツール] を選択します。

3. [Active Directory ユーザーとコンピューター] を選択します。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認



【ユーザーの OU 移動】

4. ユーザーを選択し、移動します。

本書では同期対象の OU [staff] のユーザー [山田 なな] を同期対象外の OU [external] 配下に移動しました。

＜移動前＞

- 同期対象の OU：staff
  - └ユーザー：田中 はじめ
  - └ユーザー：山田 なな (移動前)
- 同期対象外の OU：external
  - └ユーザー：外部 次郎

＜移動後＞

- 同期対象の OU：staff
  - └ユーザー：田中 はじめ
- 同期対象外の OU：external
  - └ユーザー：外部 次郎
  - └ユーザー：山田 なな (移動後)

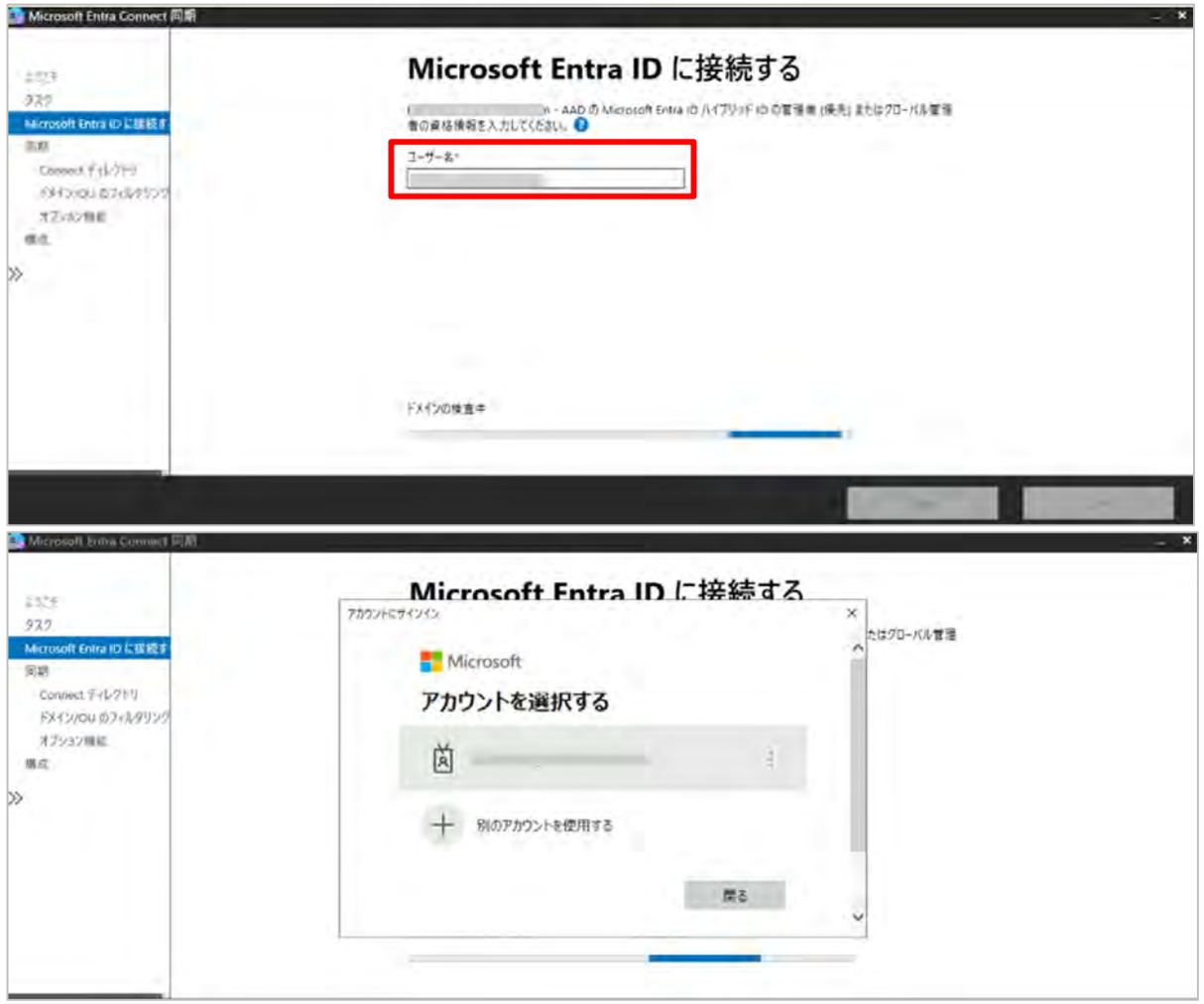
3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

1. Microsoft Entra Connect 同期インストール ウィザードを実行します。

2. 追加のタスク画面で「同期オプションのカスタマイズ」タスクに進みます。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認



【Microsoft Entra Connect 同期処理】
3. Microsoft Entra ID に接続する画面で
ハイブリッド ID 管理者、またはグローバル管理者の情報でログインを行います。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

4. ディレクトリの接続画面で同期するフォレストが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

5. ドメインと OU のフィルタリング画面で、各 OU の同期設定を確認します。

☑ staff (同期対象の OU)
☐ external (同期対象外の OU)

6. フィルタリング確認が完了したら「次へ」をクリックします。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】
7. オプション機能画面で任意の設定を行い、「次へ」をクリックします。
※本書では既定のままとしています。

8. 構成の準備完了画面で「次へ」をクリックします。

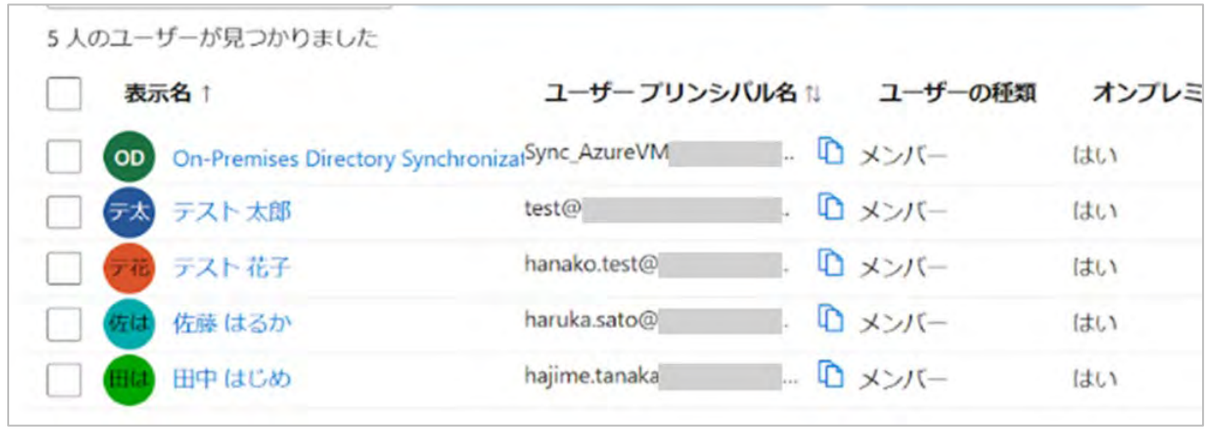
3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

【Microsoft Entra Connect 同期処理】

9. 同期サービスが構成されます。

10. 「完了」をクリックします。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認

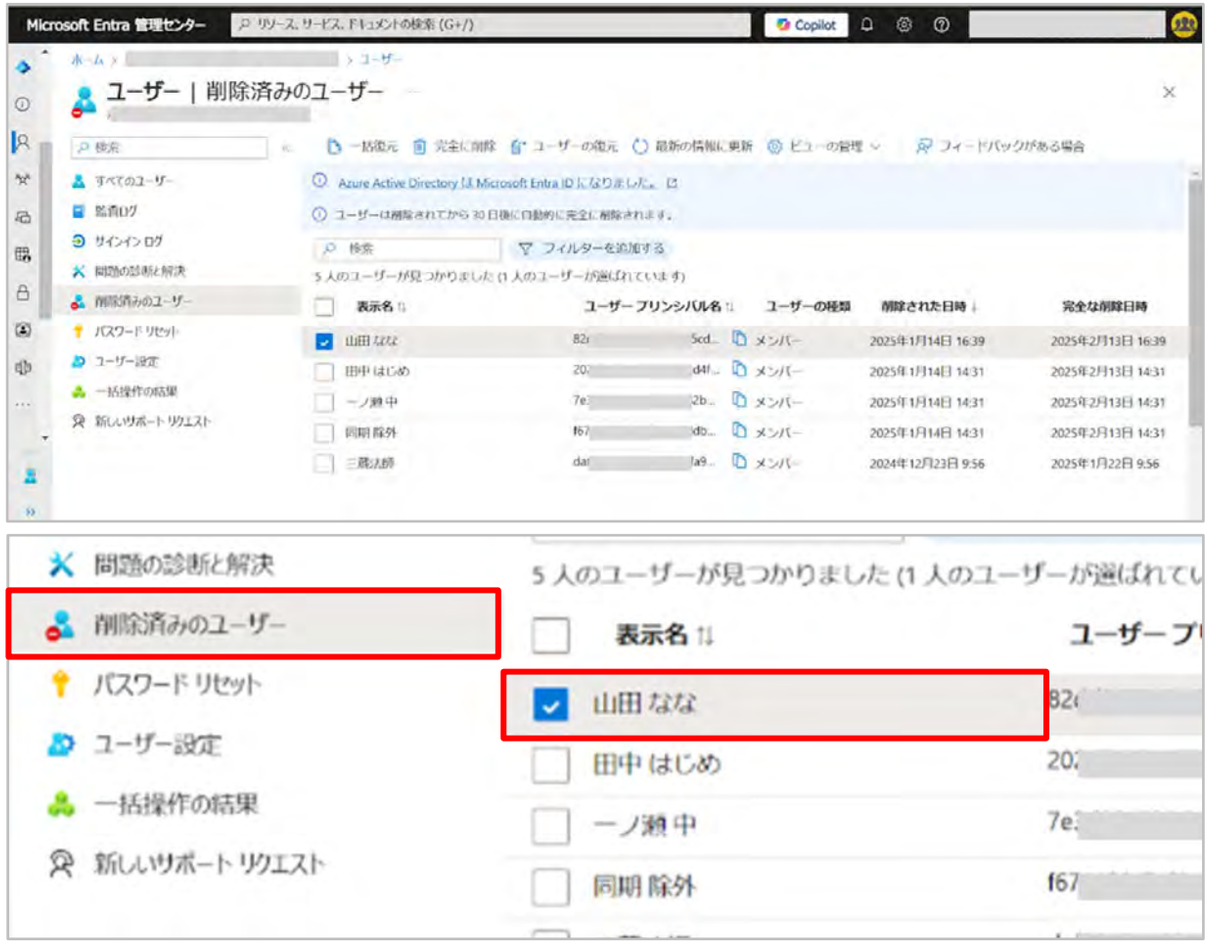


【Microsoft Entra ID 同期確認】

1. Microsoft Entra ID で同期状況を確認します。

2. 同期対象外の OU 配下に移動した、ユーザー [山田 なな] がユーザーリストから削除されました。

3.6. テストケース⑤ ユーザーを OU 間で移動した際の同期確認



【Microsoft Entra ID 同期確認】

3. 削除したユーザーは「削除されたユーザー」で確認できます。